

住民説明会アンケート結果（住民・保護者）の公開について

村教育委員会では、11月13日から15日まで、令和6年度に開校する義務教育学校の施設等に関する住民説明会を開催し、施設一体型校舎の重要性や校舎建設費用等について説明をさせていただきました。

説明内容を踏まえて、住民の皆さまや保護者の皆さまにアンケートを実施し、たくさんのご意見をいただきました。つきましては、村として施設一体型校舎を検討した背景とあわせて、アンケート結果及び皆さまからいただいたご意見を紹介させていただきます。

施設一体型校舎建設を検討した背景

村教育委員会では、村小中学校再編計画検討委員会からの提言書の提出（令和4年2月24日）を受けて、村総合教育会議を開催（令和4年3月14日）し、次のとおり教育環境の方向性が決定しました。

○令和6年度に現行の施設を活用した施設分離型の義務教育学校での再開を目指す。

○施設一体型の義務教育学校の再建も視野に入れ、新たな場所での再開も検討する。

これを踏まえて、令和4年6月20日から7月11日にかけて住民座談会を開催し、小中学校の再編に伴う義務教育学校の開校や義務教育学校の特徴やメリットなどについて、住民の皆さまに説明を行いました。あわせて、施設形態については、義務教育学校の特徴を最大限に生かすための施設一体型校舎についても検討を進めてきたところです。

義務教育学校の施設形態は、主に「施設一体型」「施設分離型」「施設隣接型」の3つに分類されます。9年間を一貫した義務教育学校を運営していく上で教育活動の取組を充実させるためには、施設的な配慮が重要となります。

施設面の課題としては、児童生徒の発達段階に応じた施設的な配慮、児童生徒の交流促進、教職員の小中一貫した運営体制への対応、保護者・地域住民の活動拠点としての機能などが挙げられます。村教育委員会では、先進地視察研修や全国の自治体の事例等をとおして、前述の課題に対応できるものは「施設一体型」が望ましいと判断し、施設一体型校舎の建設について検討を進めてきました。

《参考》「施設一体型」が「施設分離型」「施設隣接型」よりも満足度が高い要因

- ・校舎間を行き来する必要がないため、子どもたちや教職員への負担が少なく安全面にも優れている。
- ・校舎間を行き来する必要がないため、乗入授業が容易である。
- ・学校全体の教職員が一堂に会し、会議等を実施できる十分なスペースが確保できる。
- ・施設に打ち合わせや多様な活動をするための教室のゆとりが確保できる。
- ・職員室が施設内で一つになるため教職員の情報共有や打ち合わせなど細かい連絡調整が容易である。また、小・中それぞれの良さを引き出し、教職員間の相互理解を深めるためにも職員室は同じほうが良い。

・図書室等の住民利用を考えたとき、設計するうえでの配置が効率的に進められる。

参考文献：義務教育学校等の施設計画の推進に関する調査研究報告書

国立教育政策研究所文教施設研究センター（平成30年8月）

村立義務教育学校 学校施設基本構想の策定

村教育委員会では、義務教育学校体制でのより良い教育環境を目指すため、学校施設のあり方及び校舎予定地選定のために必要な情報を整理し、複数の候補地を比較検討するとともに、今後の設計業務を速やかに行うことを目的として基本構想を策定しました。

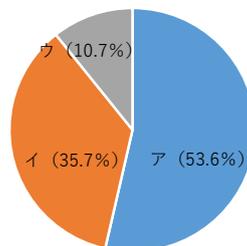
住民説明会では、施設一体型校舎の建設予定地検討フローチャートを基に詳細検討したA～C案（※住民説明会資料を参照）について説明を行いました。

村立義務教育学校校舎に関するアンケート結果

【住民アンケート】※住民説明会時に実施。

出席者	回答数	回答率
62	56	90%

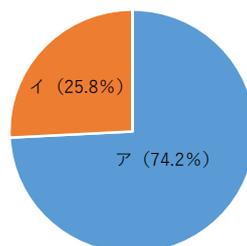
問1 新校舎建設について



ア 新校舎を建設してほしい	30	53.6%
イ 既存校舎（一勝地小と球磨中）の活用でよい（新校舎はいらない）	20	35.7%
ウ わからない	6	10.7%
合計	56	100%

問2 新校舎の建設場所（校区）について

※問1で「ア」と回答した方のみ。



ア A案【渡地区】球磨村総合運動公園に校舎を新築する案	23	74.2%
イ B案【一勝地地区】球磨中学校を解体し、校舎を新築する案	8	25.8%
ウ C案【一勝地地区】球磨中学校の一部を解体し、増築し既存部分は改修する案	0	0.0%
エ その他	0	0.0%
合計	31	100%

※ア、イに複数回答1あり、両方に含めた。

問3 新校舎建設についてのご意見

【渡地区への新校舎建設を望む意見】

◆インフラ等の安全性に関する意見

- 第一に安心安全な場所（A案）へ校舎を建設し、10年後20年後を見据えて球磨村立義務教育学校がモデル学校になり、球磨以外の方が住みたい村になることを希望、期待します。
- L2に対応できる施設一体型の新校舎をこの機会にぜひ建設していただき、未来永劫安全安心な球磨村づくりにつなげてほしいと思う。財政的に厳しい状況ですが、A～C案ともに村の持ち出しがあまり変わらない以上、事業費が高額になっても災害に強い場所を、安心安全度を優先してほしい。また、工事期間中の在校生のデメリットである仮校舎での事業、工事現場に近く騒音問題がある、工事車両の通行等危険が近くにある事等を考慮すれば、より快適な学校生活環境で学校経営ができる場所を切望する。位置的な問題、校舎は球磨村の中心地に立地してほしいという意見に対して、A案は球磨村の東端で人吉市境に近いが、スクールバス通学環境であり不便ではないと思う。将来人吉球磨圏域で義務教育学校として学校経営が半世紀（50年）以上継続できる場所としては適地ではないかと思う。

◆利便性、将来性の面からの意見

- 渡地域に住宅地が増えていくと思われるので渡地区に学校を新設してもらいたい。将来的な人口減少対策になるよう取り組んでももらいたい。
- 通学については、スクールバス等があるので、A案でよいと思う。
- 将来の子どもたちのための校舎建設をお願いする。
- B、C案にある仮設校舎に子どもたちを移転させたり、また校舎が完成したら移動させたり、工事中の騒音等を考えたりすると、子どもたちが落ち着いて勉強できないのではないかと思う。
- 村の将来を考えた時、子どもの教育は最重要と考える。きちんと整備され最適な環境で育成していただくとともに、全国のモデルとなるような学校を目指していただきたい。

【既存施設利用、その他の意見】

◆財政面からの意見

- A案の場合、既存の球磨中、一勝地小の活用や解体にも多くの税金を使用すると思うので、

そこも検討して決定してほしい。概算案も出してほしい。B・C案の場合、道路が通行止めにならないようなインフラ整備もセットで行ってほしい。

- 多額の予算をかけて建設したとして何年子どもたちが使うでしょうか。補助金があっても村のお金もたくさん使わないといけないし、子どもが増える見込みがないのもったいないと思う。ただ、球磨中の場所は今後浸かると思う。一勝地小も浸かると思う。安全な土地は渡の高台しかないと思うが、災害公営住宅ができてグラウンドをあけ渡せるようにならないと工事に取り掛かれないので実際にはさらに遅れが生じてしまう。となるともう待ちきれなくなって村外に出ていく人が増えると思う。子どもたちは球磨村にいたいと思っていても親が待てない。家のローン支払い開始年が遅くなるので早く再建したい家庭はいなくなる。学校を建設したとして返済していくのは子どもたちの世代にもかかってくる。子どもたちがいてくれたら良いが、高校、大学、就職で外に出るともう帰ってこないなら高齢者だらけの村で返していくのは難しいと思う。
- スクールバス通学で神瀬地区からさくらドームまで40分程度かかり小学1年生には体力的に難しいのではないかと思う。体育館を避難所利用の件は、運動公園には避難所として別の建物を建設した方がよいと思う。
- わざわざ建てなくても一勝地小、球磨中を使用していると思う。これから子どもが増えるという見込みがあればですが、働く場所が少ない中、増えるとは考えられません。なので、新築にかかる費用を違ったかたちで子どもたち使ってほしいと思う。正直、今、球磨村を離れていく人がおられますよね。残す方法にお金を使われた方がいいのでは？建てるならBかC案かと思う。
- 子どもが少なくなっていく中で、これだけのお金を使って渡地区へ新築する必要があるのか？と思う。神瀬は学校もなくなり、保育園もなくなり人もいなくなってきている。学校も遠くなるのであれば住む人はもっといなくなる…戻ってくる人もいなくなるのでは？子どもが入学し学校に慣れた頃にまた移転…子どもの負担が大きいのではないかと不安がある。分離型でもいいのではないか。
- 村の財政を十分見極めて計画を進めてほしい。

◆立地の面、その他の意見

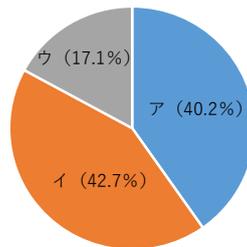
- 村中心部に建設することにより、各地域からの通学が適切であり、平等である。村の中心部に位置することから、定住移住対策にも対応が可能であり、各地域の振興にもメリットが多い。将来を担う子どもたちのため中・長期的な展望に立って進めてもらいたい。
- 新校舎については施設一体型で村の中心部が良いと思う。
- 既存の建物を活用してもらいたい、老朽化しているところは改修すべきだと思う。

【保護者アンケート】 ※0歳から中学生までがいる世帯を対象に実施。

世帯数	回答数	回答率
141	82	58%

(令和4年12月1日現在)

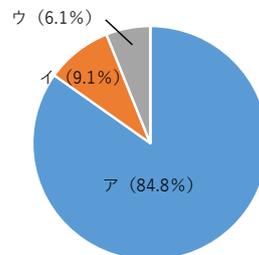
問1 新校舎建設について



ア 新校舎を建設してほしい	33	40.2%
イ 既存校舎（一勝地小と球磨中）の活用でよい（新校舎はいらない）	35	42.7%
ウ わからない	14	17.1%
合計	82	100%

問2 新校舎の建設場所（校区）について

※問1で「ア」と回答した方のみ。



ア A案【渡地区】球磨村総合運動公園に校舎を新築する案	28	84.8%
イ B案【一勝地地区】球磨中学校を解体し、校舎を新築する案	8	9.1%
ウ C案【一勝地地区】球磨中学校の一部を解体し、増築し既存部分は改修する案	2	6.1%
エ その他	0	0.0%
合計	33	100%

問3 新校舎建設についてのご意見

【渡地区への新校舎建設を望む意見】

◆インフラ等の安全性に関する意見

○災害後、村外転出の増加による児童生徒数の減少に到ったのは少なからず被災し孤立し

た場所に教育環境があることを心配したからだと思う。子どもを安全安心した環境に通ってほしいと思うのは、親として当然だと思う。一年に何度もハラハラさせながらバス通学をさせることを疑問に思っている。未来の子どもや子育てされる親御さんには、安心して学校に子どもを預けさせてあげたい。安心安全が確保されたならば、村外から戻ってくる未来の世帯や移住者が出てくることを目指してほしい。事業費に費用がかかるのはわかりますが、また災害があり人口が減少するほうがダメだと思う。

- 一勝地の方が中心で学校があった方が良いと思うが、もしまた災害があった場合を考えると渡の方が安心だと思う。今回の災害では橋が流れずに済んだが、もしもの事を考えると学校も避難できるところが一番だと思う。
- 前回の災害時国道が通行不可となり一勝地に行けなかった。子どもたちが学校に行っている間にそうなった時が怖いため、一勝地ではなく、渡が好ましいと思う。
- 子どもを安全な場所で学ばせると考えると渡に建設していただきたい。これから復興がどんどん進んで行く中で、費用面などを考えると一勝地の方がいいのかな…とも思うが、今後数十年、数百年と学校の場所が変わらないと考えると思い切って渡に教育機関を移してもいいのかなと思う。そうすると塚の丸や一王寺の分譲地に新しい子育て世代も来て、子どもも増えるかもしれない。

◆利便性、将来性の面からの意見

- 将来の生活の利便性や安全性、人口維持や増加、さらに子どもたちの習い事環境を考えると渡地域での再建しかないと思う。子どもたちの学力の向上を図る上でも渡地域での再建を望む。

【既存施設利用、その他の意見】

◆財政面からの意見

- まず、このアンケートと同封してある資料を見てどうしても A 案を通したい内容にしか見えませんでした。この先、児童が明らかに少なくなっていくのが分かっているながら渡に新校舎を建てる必要はないと思う。既存校舎で十分だと思う。令和 2 年の水害のような災害が起きたら渡の高台に建てても一勝地や神瀬からは行けない。どこに建てても同じ状況だと思う。いくら国の補助金が出るからと言ってもそのような莫大な費用は使わないで欲しい。一勝地小もまだ新しい立派な校舎なので、活用して義務教育学校にして欲しい。一人一人の意見を十分に尊重した上で慎重に進めて欲しい。
- 球磨中学校を改修して再利用した方が良い。なぜなら、7 月豪雨の時でも校舎、グラウンド等被害は見受けられず、また位置的にも球磨村のほぼ中央でもあるから。村民も激減し、渡への新校舎を建設するとなると、村内に残った人たちの負担が大きくなる。
- 一勝地小校舎を小学校が統合した場合の子ども的人数でも問題なく使用できる状態であるにもかかわらず、活用しないという案が出ている点が納得できない。また、A 案の災害時のインフラの詳細ですが、道が通れない場合の一勝地地区や神瀬校区その他の子どもたちが登校できない場合も再開を見込んでいるのか？ 渡校区の子どもたちや、通える子

どもたちのみでの授業再開はおかしいのではないかと感じた。新学校の建設費用に莫大な費用をかけるのではなく、必要最低限の既存施設の改修と義務教育学校ならではの特色ある教育で、教育の質を高める事がまずは第一に考えることではないか？

○新校舎建設は反対。村民の税金の無駄遣いはしてほしくない。球磨中がそのまま使えるのであれば、新校舎建設の意味がわからない。

◆将来的な児童生徒数の面からの意見

○新校舎はいらない。子どもが少なくなる今、必要はない。

○子どもの数が少ないので完成する頃にはほとんど子どもは残っていないと思う。親も待てません。早く家を建てて安心して住みたいのに土地の造成も時間がかかり待っている間に子どもたちも大きくなり、そのうちに高校生になったら人吉市の方が都合が良いと感じて転出するかもしれない。また、村が多額の借金をしてまで作る必要性を感じません。返していただくのお金が村にありません。今後は高齢者ばかりになるので税収も見込めません。子どもたちに借金を残したくありません。防災的な施設は必要で、学校にひっかければお金が浮くのかもしれませんが、それならそのように説明してもらわないとなかなか賛成するのは難しいと思う。

○将来性（今後の村の児童生徒数や財政面）を考慮し、検討してほしい。仮に新校舎を建てた場合、どれくらいの活用年数が見込まれるのか、また、トータルコスト等を十分に検討していただきたい。

○子どもの数が増える見込みがありませんので、既存の校舎で十分だと思う。施設整備より、教育内容の充実が大事だと思う。特色あるカリキュラムで人を集められるような学校になればいいと考える。

◆その他の意見

○さくらドームがなくなることで、公園もなくなった今、元気に走り回る場所がなくなる園児がいるということも考えて欲しい。

○渡小学校の仮設は、現在のもも含めて2箇所目だと思う。補助もあるかもしれないが、住民からすると、無駄でもったいないと思っている。説明会の話は「渡小学校の為の補助金」と聞こえた。たしかにそうかもしれないが、新築となれば、また壊すの？と思う。分離型で今の建物を活用したらと思う。また、話を聞いて感じたのは、先生方の動きばかりを説明されているようだった。検討する中で目線はどこですか？と思った。子どもたちへの思いを感じなかった。

○子どもが少なくなる中、まだ使える施設があるのに新校舎を建てる意味があるのか？新校舎を建設する費用があるならば、施設や時間に縛られずどこでも授業を受けられる、オンライン学習環境を整備していただきたい。

○渡小が被災したことで、子どもたちも減っているし、一勝地小校舎にまとまって一つの学校として進めばいいと思っていたが、いつの間にか「渡小再建」という話が出てきて、あげくのはてには「渡小再建補助金」の説明を先日の座談会で聞き、びっくりした。A案も神瀬や高沢のことは全く考えていない案だと思う。渡にばかり何でも持ってこないで

ほしい。

○新校舎をつくる必要はないと思う。今後の村の人口や財政面を考えて検討してほしい。資金が使えるのであれば、校舎内の整備や設備を良くしていただければいいと思う。新校舎を建設される場合、一勝地小や球磨中はどうされますか、また周辺地域の影響についても考えていただければと思う。費用についても村の負担について詳しく教えていただき、村民等の負担があるのかも教えていただきたい。

アンケート結果を踏まえた今後の方針について

住民アンケート、保護者アンケートの結果からは、新校舎の建設場所について、渡地区を希望する案、一勝地地区を希望する案と同数程度の意見がありました。また、新校舎建設については、安全面を第一に考え、高台である渡地区が望ましいとする声や莫大な費用がかかることを懸念し、球磨中、一勝地小の既存施設利用を望ましいとする声も多くありました。

村としましては、村民の皆さまからいただいた貴重なご意見を、今後の学校の方針を決定していくうえでの重要な資料として活用させていただきます。そして、被災者の一日も早い生活再建を第一に考え、村の中長期財政計画と照らし合わせながら、義務教育学校の一体型校舎建設について検討していくとともに、あわせて既存校舎の活用等についても検討していくこととしています。